

令和4年度第2回北栄町文化財保護委員会

日時 令和4年12月1日(木)
午後2時30分～3時30分
場所 北栄町中央公民館 講堂

日 程

1. 開 会

2. あいさつ

3. 報告事項

(1) 町内遺跡発掘調査事業について…【資料1】

(2) 特別天然記念物コウノトリについて…【資料2】

(3) その他

4. 協議事項

(1) 令和5年度実施事業について…【資料3】

(2) その他

5. その他

6. 閉 会



北栄町文化財キャラクター
鹿子(しかこ)

モデル:北栄町土下から出
土した鹿埴輪

☆町報「鹿子の宝箱」で北栄
町の文化・文化財を紹介
しています。

北栄町文化財保護委員会委員

| 番号 | 氏名 | 所属 | 備考 |
|----|--------|-------|----------|
| 1 | 南場 兄一 | 学識経験者 | 委員長 |
| 2 | 中前 雄一郎 | | 副委員長（欠席） |
| 3 | 横濱 純一 | | |
| 4 | 遠藤 晃子 | | |
| 5 | 荒木 千彰 | | |

※任期：令和4年4月1日から令和6年3月31日まで

〈事務局出席者〉

| 番号 | 氏名 | 職名 | 所属等 | 備考 |
|----|--------|----|------------|----|
| 1 | 前田 美友紀 | 課長 | 生涯学習課 | |
| 2 | 福庭 克展 | 室長 | 文化・スポーツ推進室 | |
| 3 | 池口 沙弥香 | 主任 | 文化・スポーツ推進室 | |

町内遺跡発掘調査事業について

1 六尾反射炉跡の発掘調査について

(1) 経緯：危険家屋が撤去され更地となった宅地について、令和2年度の調査によりトレンチ1で幅約6.9mの水路跡と考えられる溝を確認。調査地の南側のトレンチ3では水路の端が確認できなかったため、今年度は水路の大きさを確認するための調査を行った。(令和3年度に北栄町が土地を取得済み)

(2) 調査個所：図1のとおり

(3) 調査方法：トレンチ調査

①3m×10m 1箇所 (トレンチ4)

②2m×4m 1箇所 (トレンチ5)

※基準点測量(恒久的な基準点の設置)も実施

(4) 調査期間：9月6日～

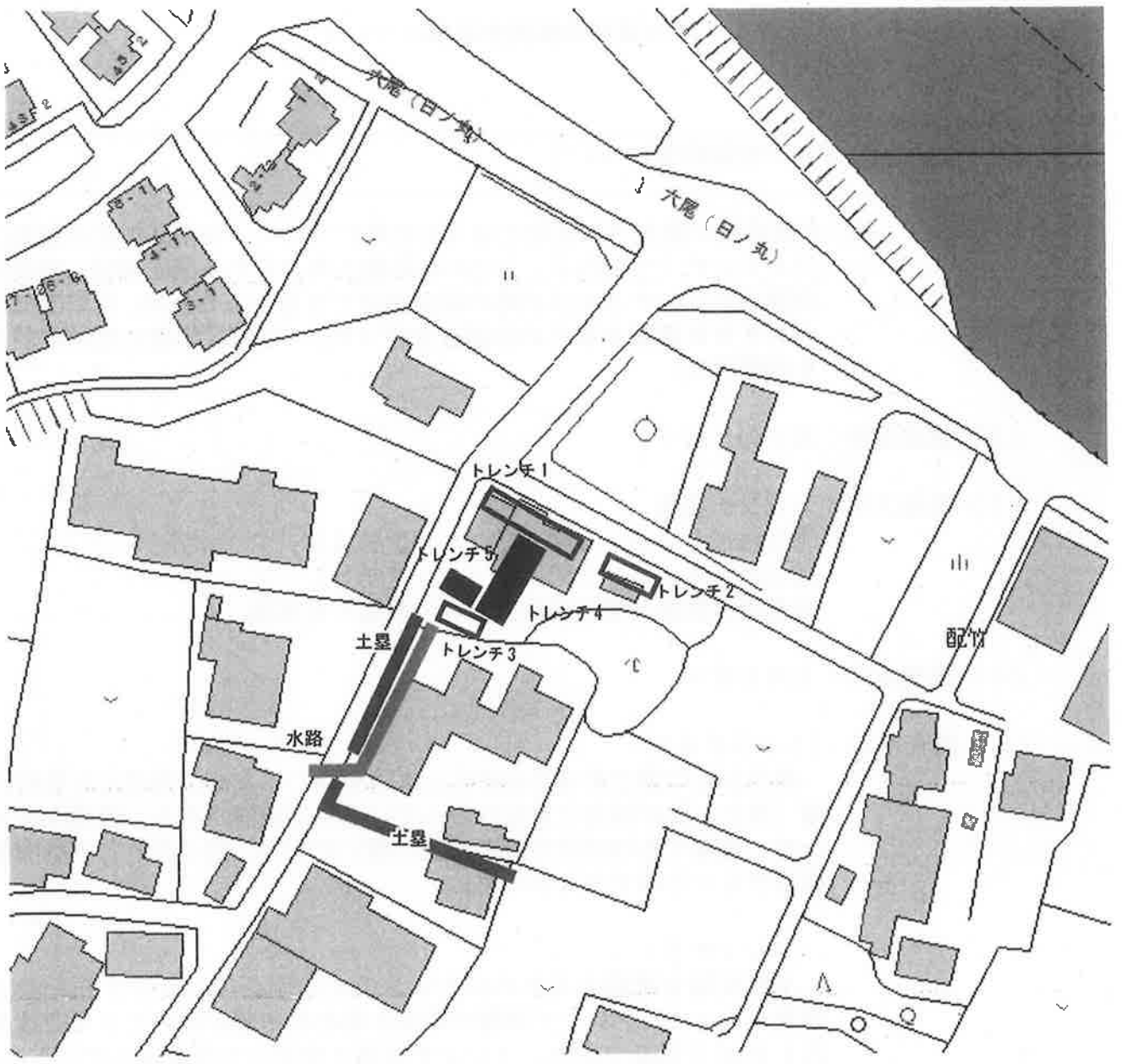
(5) 調査結果：(トレンチ4)

表土からの深さ約40cmから、水路をつくるための造成土と思われる層(赤土と砂が相互に重なり合っている)が確認された。造成土はトレンチ南端でもほぼ同じ幅で南側に続いており、はっきりと水路南端を確認することはできなかった。

(トレンチ5)

水路南端を確認するためにトレンチ4の南西にトレンチ5を設定し調査を行った。トレンチ西端で地山と思われる層が浅いところでは深さ約10cmで確認された。トレンチ西側に向かって落ち込んでいるため、水路の肩だと思われるが、鉄工所や住宅の建設など、後世に大幅な攪乱を受けているため、トレンチ4と同様に水路南端についてはっきりとした結論は出ていない。

図1



特別天然記念物コウノトリについて

(1) 営巣場所：北栄町妻波地内の電波塔（高さ40m）

(2) 経過

| | |
|----------|---------------------------------|
| 令和4年4月1日 | 町民からの情報で、コウノトリが営巣していることを確認 |
| 4月7日 | コウノトリの郷公園職員が来町し、抱卵を確認 |
| 5月7日 | 孵化を確認 |
| 6月20日 | 標識足環取付 |
| 7月11日 | 巢内にヒナがない時間を確認し、11日以前に巣立ちしたと思われる |
| 9月上旬 | 最後の1羽が電波塔周辺に帰ってこなくなる |
| 9月中旬 | 親鳥2羽も電波塔周辺に帰ってこなくなる |

(3) 親鳥及びヒナについて

【親鳥】

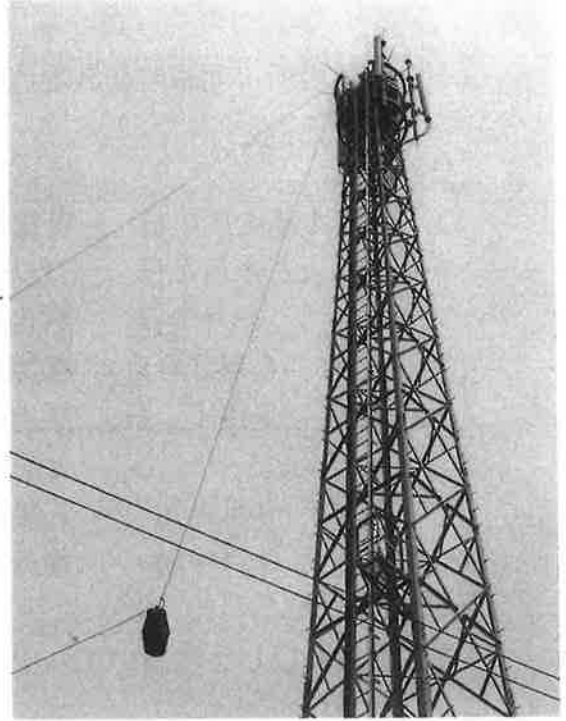
| 個体番号 | 性別 |
|-------|----|
| J0240 | オス |
| J0263 | メス |

【ヒナ】

| 個体番号 | 足環の色 | 性別 | 体重 |
|-------|-----------|----|-------|
| J0475 | 左：黒黒 右：青緑 | メス | 4.0kg |
| J0478 | 左：黒青 右：青緑 | オス | 4.7kg |
| J0479 | 左：黒緑 右：青緑 | オス | 4.8kg |

(4) ヒナの愛称について

| 愛称 | 性別 | 愛称の理由 |
|--------|----|--|
| あいちゃん | メス | 大きく育ててほしいという愛をこめて。 |
| ほくちゃん | オス | 北栄町の地で生まれ、町に幸せを運んでくれる鳥になってほしいから |
| スイカちゃん | オス | 北栄町らしいものがないと思ひ、北栄町の特産品であるから。 巣作りから巣立ちまでが大栄西瓜の期間とほぼ同じで、生誕地の周りのスイカ生産者にずっとあたたかく見守られて育ったから。 |



①鉄塔に電波塔管理会社の職員が登り、ヒナを捕獲し、袋に入れて地上まで下ろす。



②捕獲したヒナの血液等の検体採取や測定



③足環の取付

3 その他

1. 鹿子探検隊について（町内文化財めぐりについて）

- (1) 日時：令和4年11月12日（土）
- (2) 行先：東高尾観音寺、高尾八幡宮、上種五輪塔、茶白山、松樹庵、六尾反射炉跡
- (3) 参加者：9名
- (4) 今後の予定：実際に町内文化財を見ていただいた感想等を含め、今後の活用策（ウォーキングマップ作成など）を検討し、自ら調査を行ってもらおう。



上種五輪塔の説明看板前



松樹庵への階段



六尾反射炉跡の発掘現場

2. 歴史講座について

- (1) 日時：令和5年1月21日（土） 午後1時30分～
- (2) 場所：北栄町中央公民館 講堂（定員：30名）
- (3) 講師：北尾泰志 氏（現在北栄町の古文書整理を依頼中）
- (4) 内容：江戸時代の村について

令和5年度実施予定事業について

1 文化財保護対策事業

- ・文化財保護委員会の開催 3回
- ・齋尾家住宅限定公開 2回（11月、3月）
- ・指定等文化財の保護、管理報償 国指定・登録3件、県指定2件、町指定21件
- ・歴史探訪ウォークの開催
- ・国特別天然記念物コウノトリ・オオサンショウウオの保護
- ・鹿子探検隊の実施
- ・歴史講座の開催
- ・各種開発事業との調整

2 発掘調査事業計画について

- (1) 調査個所：六尾反射炉跡（令和2年度からの継続調査）
- (2) 調査内容：水路跡の確認（主に水路の深さの確認）
- (3) 調査方法：トレンチ調査
 - ① 10×10m 1箇所（予定）
- (4) 調査期間：6月以降
- (5) 報告書：令和6年度以降

